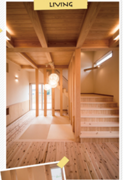
GATHERING HOUSE

夫婦+子ども3人

この家のおもしろさは何といっても、「階段」を中心にプランを考えていったところです。ご夫婦は、長女さんの10歳のお誕生日に、アップライトピアノをプレゼントするという計画がありました。「階段の踊り場を舞台みたいにしてピアノを置いて、娘が奏でるピアノの音色が家中に響き渡ったらいいな」というご夫婦の思いが込められています。だから、階段上部は解放的な吹き抜け！ピアノを弾いていても、さぞ気持ちのいいことでしょう。階段といえば、1階と2階を行き来するための言わば「つなぎ役」と捉えられがちですが、こちらの住まいは、そうではありません。ピアノを置くためでもありますが、幅広く取った階段はベンチにもなり、子どもたちがちょこっと腰をかけて、読書を楽しむことだってできます。また、物置にされがちな階段下スペースも、あえて解放し、子どもの秘密基地としました。階段をリビングのひとつとして取り込めば、ここまで豊かな空間になるのですね。もちろん、リビングからキッチン、水回り、ウッドデッキへの動線もスムーズ。家事が最短距離の移動でこなせそうな点も実にお見事！

LIVING



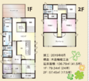
長さまのデザイン通りに遊んでいた末っ子君。絵本を読んだり、クルクル走り回ったり！

ピアノを設置予定の踊り場から見た景色。踊り場上部は吹き抜けとなっている。

幅広く取った階段、踊り場、太い柱や梁、天井板のバランスが美しいリビング。フロアには素足が気持ちいい杉の無垢材を使用。子どもたち用にクッション性のある畳スペースを設けた。階段下は、おもちゃ収納にも。

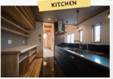
階段に腰をかけるとちょうど正面にある本棚は、キッチンとの境の壁面に造作。

PLAN



竣工：2019年6月
構造：木造軸組工法
延床面積：136.79㎡（41.5坪）
1F：79.34㎡（24坪）
2F：57.45㎡（17.5坪）

KITCHEN



POINT 家のほぼ中央に位置するアイランドキッチン。移動のしやすさを重視して、回遊性を持たせた。背面の造作カウンターを備え付け、食べる時間がばらばらな家族の食事は、ここで完結。内壁は白やナチュラルな木を多様しているので、フロアタイルやキッチンの配色が引き立つ！

バーチャル住宅体感システム

ARCHITREND VR

愛媛県初導入

VR（バーチャルリアリティ）でプランを体感！！

家具の置き具合やキッチンの高さ、廊下の幅、コンセントの位置などは、図面やパースから想像したり、建築途中に打ち合わせして決めるのが現状でした。しかし、実際に家が建つと、「少し狭かったな」「棚が少し高いな」ということが起こってしまうこともあります。ARCHITREND VR を使えば、家が建つ前に、実際の間取りで、家の中をリアルに歩いて体感することができます。空間の広がりを目線で体感することで、これから建つ家での生活を疑似体験しながらチェックすることができます。

白川建設のお客様へのご提案は「見る」から「体感」するへ。

職人の手刻みにこだわり、守るべき伝統は継承し、新しい技術は進んで導入。「伝統の継承と技術革新」をモットーに、家造りに取り組んでいます。